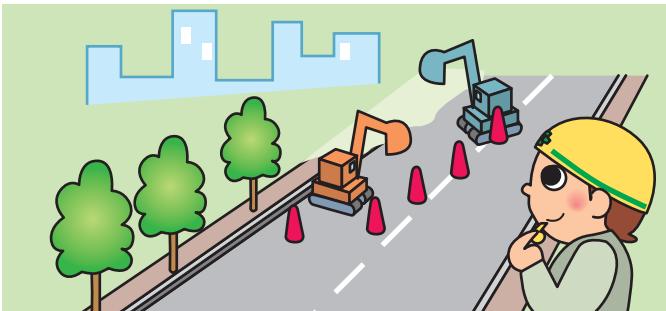
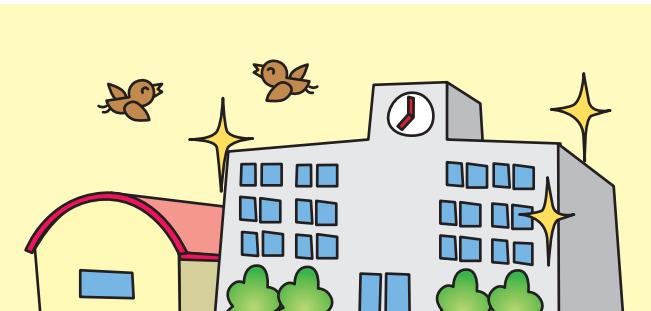


新「津市」になると、どんなことをするのかな?

例えば、このようなものがあります。



10市町村を結ぶのに必要な道路の建設を進めます。



地震に備えて、古い校舎を建て替えたり、直したりします。



10市町村が力を合わせて、いろいろな災害から市民の皆さんを守っていきます。



10市町村の観光地を結びつけて、たくさんの人々に楽しんでもらいます。



10市町村を代表する市民の皆さんとともに、まちの将来を考えていきます。



ごみの減量やリサイクルに取り組んだり、新「津市」のごみを処分する施設の建設を進めます。

新市の将来のすがた（新市の将来像）として、次の標語を定めています。

環境と共生し、心豊かで元気あふれる美しい県都

くわしいことを知りたい時は、津地区合併協議会に問い合わせていただくか、ホームページなどで調べることができます。



編集・発行 津地区合併協議会事務局

郵便番号 514-8611

電話番号 059-229-3450

ホームページ <http://www.tsu-gappei.jp/>

R100
PRINTED WITH SOY INK

新しいまち

新「津市」が誕生するよ!

平成18年1月1日



平成18年1月1日に、10市町村※
が合体（合併）して、一つの大きなまち、
新「津市」が誕生します。

※ 10市町村→津市、久居市、河芸町、
芸濃町、美里村、安濃町、香良洲町、
一志町、白山町、美杉村



合併により、大きなまちとなり、
それぞれのまちで別々に行ってきた
仕事を一つにすることができる、市民
の皆さんの期待にこれからもこたえ
られる仕事を進めることができます。

琵琶湖

（面積約 670km²）

新「津市」

（面積約 710km²）

新「津市」は、三重県のまん中に位置し、
三重県庁があり、人口は約29万人（三重県
内で2番）、豊かな自然や歴史的、文化的な
ものに恵まれた面積約710km²※の大きなま
ち（三重県内で1番）になります。
※滋賀県の琵琶湖より少し広くなります。



新「津市」はどんなまちになるのか？
その魅力を探ってみましょう!!

新「津市」となる10市町村はどんなまちなのかな?

新「津市」の魅力を紹介します。

芸濃町

【有名なもの】
石山観音公園、キャンプ場、茶、いちご



※人口 8,900人
小学校 4校(354人)
中学校 1校(228人)

(錫杖湖と錫杖ヶ岳)
ダム湖があり、長いローラーすべり台で遊べます。

安濃町

【有名なもの】
中央総合公園、花しょうぶ、ほうれんそう、モロヘイヤ
(経ヶ峰展望台)
展望台があり、伊勢湾の雄大な景色が楽しめます。



【有名なもの】
長野氏城跡、みそ、梅ジャム、たけのこ



※人口 4,249人
小学校 3校(217人)
中学校 1校(115人)

(かんご踊り)
江戸時代から伝わる有名な踊りがみられます。

名張川

【有名なもの】
君ヶ野ダム、北畠氏館跡庭園、ごんぽ祭り、茶



※人口 7,158人
小学校 3校(222人)
中学校 1校(124人)



美杉村

【有名なもの】
三多気の桜



※人口 2,222人

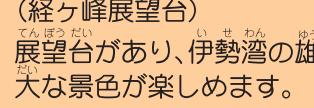


芸濃町

【有名なもの】
安濃川



※人口 11,279人
小学校 4校(700人)
中学校 1校(328人)

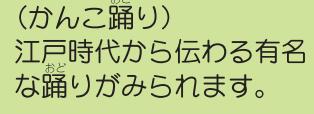


美里村

【有名なもの】
津城跡、御殿場海岸、中勢グリーンパーク(公園)、こうなご



※人口 17,351人
小学校 4校(1,090人)
中学校 1校(481人)



河芸町

【有名なもの】
ヨットや釣りが楽しめる海岸があります。



※人口 163,246人
小学校 25校(9,846人)
中学校 14校(5,362人)



一志町

【有名なもの】
風力発電



※人口 41,063人
小学校 7校(2,300人)
中学校 3校(1,128人)



白山町

【有名なもの】
湯原温泉、青山高原、ゴルフ場、梨



※人口 13,395人
小学校 5校(606人)
中学校 1校(337人)



香良洲町

【有名なもの】
海水浴場



※人口 5,300人
小学校 1校(283人)
中学校 1校(139人)



久居市

【有名なもの】
風車(風力発電)



※人口 14,580人
小学校 4校(886人)
中学校 1校(442人)



一志町

【有名なもの】
矢頭の大杉



※人口 約千年の木があります。

